



角田会長

管路診断コンサルタント協会（角田五郎会長）は10月28日、都内で第8回（通算第20回）社員総会を開催し、改築修繕マニュアルによるストックマネジメントの継続支援を掲げた平成29年度事業計画案を全会一致で承認した。

協 管 診 協

第8回 社員総会 地域密着講習会も

マニュアル軸にSM支援

活躍の場が増えるを期待している」と所信を述べた。

28年度は、改正下水道法への対応として、「下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティングマニュアル案」を改訂。改築・修繕技術に加え、下水道総合地震対策計画から下水道BCPの策定まで包含し、下水道ストックマネジメント実施を総合的に支援できるよう整備した。同マニュアルは、下水道用設計標準歩掛の参考図書に採用されている。

また、土木工学の教員・学生向けに、管路施設の再構築に関する診断・設計・施工・維持管理全般を網羅的にまとめた技術図書「再構築学・下水

道管路施設編」を出版。講習会では、東京・大阪で技術ショーケースを開催し、官民で法改正に伴う維持管理をテーマにパネルディスカッションを企画した。

29年度の具体的な取組みとしては、技術マニュアルを柱にストックマネジメント支援に注力する考え。手引き・技術資料関連では、日本下水道管路管理業協会、日本クラウンドマンホール工業会らと共同で、マンホール蓋変更表に関する手引きの発刊作業を進めている。また、毎年恒例の技術ショーケースに加え、地域密着型のミニ技術講習会・勉強会を開催する。

SMにおける管路維持管理計画の担い手に

管路診断コンサルタント協会会長

角田 五郎



昨年公布された下水道法の改正に伴い、下水道事業のストックマネジメント（SM）実施に関するガイドラインが公表され、本年10月には簡易版SM実施方針が示されたことにより、本事業の推進がますます強化されつつあります。

私たち管路診断コンサルタント協会（管診協）は、管路施設の計画的な改築・修繕に関するコンサルティング業務の確立と新技術の研究開発を目指してまいりましたが、なお一層のお手伝いのある場があると考えております。特に今年度は当協会の「下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティング・マニュアル(案)」を改訂し、国の施策として示されたSM計画の一助になるものと期待しています。

下水道事業に携わる技術者が不足していく中、効率的な管路維持管理計画の担い手として地方公共団体の皆さまと連携を深めていく所存です。